資料4-2

先進地事例比較表及び実態調査結果【新築】

※着色・太字は「富山県ウェルビーイング住宅（仮称）」の性能水準に採用したものと同等の水準

		項目	「住宅の省エネと健康に関する実態調査」からの意見	国ZEH基準	先進事例 北海道	岩手県	山形県	東京都	新潟県	長野県	鳥取県
					北方型住宅	岩手型住宅	やまがた健康住宅	東京ｾﾞﾛｴﾐ住宅	雪国型ZEH	信州健康ｾﾞﾛｴﾈ住宅	とっとり健康省ｴﾈ住宅
基本的考え方					4つの基本性能「長寿命」「安心・健康」「環境との共生」「地域らしさ」	「さらなる省エネ性能」と県産材の活用等の「岩手らしさ」を持つ住宅	最も寒い時期でも朝、室温が10℃を下回らない性能を持つ住宅	性能の高い断熱材や窓、省エネ性能の高い照明やｴｱｺﾝを取り入れた、人や地球環境に優しい住宅	温室効果ガス排出量の削減を目的とし、新潟の気候に適した高い断熱性を持つ住宅	平時は快適で健康的な暮らし、災害時は安心・安全な暮らしを適切なｺｽﾄで実現できる良質な社会資産	①省エネ性能は健康に影響②国基準では家全体の保温は困難③施主が高性能を選択できない、をｸﾘｱｰ
基本項目	外皮性能	断熱性能（UA値）5地域	【標準】ZEH(77.8%),等級4(16.7%),等級3(5.6%)　【推奨】ZEH(66.7%),HEAT20(33.3%) ・HEAT20以上の性能を有する建物は理想だが、コストが上がるためZEHレベルが妥当。 ・自社製品はUA値0.67はクリアー、別商品G2(0.34),G3(0.23)も所有している。	0.6	0.34	0.28～0.34(等級6) 0.20～0.23(等級7) ※2～4地域	**0.48（ﾚﾍﾞﾙⅢ）** **0.34（ﾚﾍﾞﾙⅡ）** **0.23（ﾚﾍﾞﾙⅠ）**	0.7（水準1） 0.6（水準2） 0.46（水準3）	**0.48（基本G1）** **0.34（推奨G2）** **0.23（推奨G3）**	**0.5（最低）** **0.34（推奨）** **0.23（先導）**	**0.48（T-G1）** **0.34（T-G2）** **0.23（T-G3）**
		気密性能（C値）	【設けている】11(61.1%)　【設けていない】7(38.9%) ・基準は最低0.8であるが、測定段階で0.6を達成。		**1cm²/m²以下** ＋ 気密測定実施	**1cm²/m²以下**	**1cm²/m²以下**		**1cm²/m²以下**	**1cm²/m²以下** ＋ 結露防止対策	**1cm²/m²以下**
	省エネ性能	一次エネルギー消費量削減率	【評価方法】標準計算ルート16(84.2%)，簡易計算ルート2(10.5%) 【評価作業】自社14(77.8%)，外注4(22.2%) ・省エネ設備で多いのは、①LED照明、エコキュート②高断熱浴槽③人感センサー　等 ・こどもエコすまい補助金対象となるエネファーム、ハイブリット、エコキュートが増加	△20%	△20%			△30%（水準1） △35%（水準2） △40%（水準3）		**△20%（最低）** **△25%（推奨）** **△30%（先導）**	△30%（TG-1） △50%（T-G2） △70%（T-G3） ※)冷暖房費削減率
	創エネルギー	太陽光発電等	・再生可能エネルギー設備で多いのは、①太陽光発電設備(9)、②蓄電池(2) ・太陽光発電は2022年より採用しているが、蓄電池は安価になれば採用したい。 ・エネファームの設置費用は高い。ｴｺｷｭｰﾄ、ｴｺｼﾞｮｰｽﾞよりｶﾞｽﾊｲﾌﾞﾘｯﾄ給湯器設置が多い。 ・カーボンニュートラル推進する上で、省エネと創エネは必須。 【太陽光発電の普及の課題】 ・日照時間が短く、積雪が多い。　・敷地内に落雪スペースがない。 ・費用対効果が期待できない。　・補助制度の拡充。 ・売電を自家消費への意識の転換。　・施工方法の」セミナー。	要設置				※R6.10から太陽光発電設備等を原則設置	**太陽光発電設備を設置可能な場合は原則導入（PPAモデルも可能）**	**太陽光発電設備3KW以上を導入（最低）** **家電を除きｾﾞﾛｴﾈﾙｷﾞｰ達成（推奨）** **家電を含めｾﾞﾛｴﾈﾙｷﾞｰ達成（先導）**	
	その他	県産材利用	・県産材は他産地材より割高、補助の増額。 ・JAS構造材の供給量が足りない。 ・ｳｯﾄﾞﾏｲﾚｰｼ(※)の観点から近隣材を使用。JAS材等の指定がある場合、近隣材は使用できないため、対策が必要。　（※）「木材量×距離数」で表す。			**・構造材や内外装材への活用** **・木質ﾊﾞｲｵﾏｽｴﾈﾙｷﾞｰとしての利用**				**3m³以上又は仕上材30m²(最低)** **0.12m³/m²以上(推奨)** **0.15m³/m²以上(先導)**	
		レジリエンス性の確保			**耐震等級2**					**壁量1.25倍（最低）** **壁量1.5倍（推奨）** **壁量1.5倍（先導）**	
配慮項目	地域特性に関する＋α	景観・周辺環境との調和	・富山県は雪、雨が多いため、外壁の耐久性の検討。 ・まちに開かれた外観、ｽﾍﾟｰｽに対する補助制度を。 ・地域特性として「湿気」対策がある。			**地域性への配慮**				**見かけ上の軒高7m以下に抑える**	
		太陽熱利用設備の設置	・太陽光パネルから落雪するため、積載荷重の軽減。							**太陽熱利用温水器、太陽熱利用暖房設備の設置**	
		伝統技能の活用	・地域ごとの風向、日照等、自然を生かした基準。（富山県地域住文化要素基準）							**瓦、左官壁、畳、建具の導入**	
		HEMSの導入	・防災の視点。（蓄電、非常用水タンク設置）							**導入**	
		暖房負荷のの低減	・設備面だけではなく、軒の出、植栽・通風、暖房計画等、気候風土、環境特性に応じた快適性の確保。								